

# 函館市都市景観賞

応募締切

平成  
26年 12月26日(金)

都市景観に配慮した建物やより良い景観づくりの  
ための活動をしている団体を募集します。

お問合せ

函館市都市建設部  
まちづくり景観課  
TEL 0138-21-3357

詳しくは  
コチラ



# 函館景観に配慮した建物と 活動を募集し表彰する 函館市都市景観賞ポスター

個人制作

制作期間 2014/9 - 2014/11

函館市電掲載作品



## 函館市都市景観賞

応募締切

平成  
26年 12月 26日(金)

都市景観に配慮した建物やより良い景観づくりの  
ための活動をしている団体を募集します。

お問合せ

函館市都市建設部  
まちづくり景観課  
TEL 0138-21-3357

詳しくは  
コチラ



## 函館情緒溢れるポスターの制作

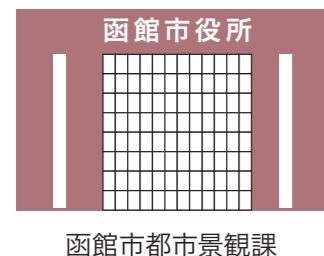
函館西部地区の古き良き雰囲気を  
白黒のスケッチで表現

函館西部地区には古くから残っている建造物が多くある。その古き良き雰囲気をポスターを見る人に感じてもらいたく、メインカラーは白黒で、手書きの味を残したポスターを制作した。

函館西部地区の象徴である  
和洋折衷建築を大きく見せる

函館西部地区には和洋折衷の建造物が多くある。その函館の大きな特徴となる建造物をメインビジュアルとした。2つの建造物は実際にあるものをスケッチした。

## 函館市役所からの依頼



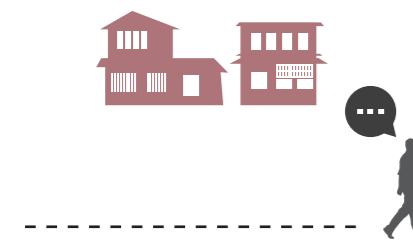
函館市都市景観賞の募集をするポスターを作成してほしい



DesignQuartetto

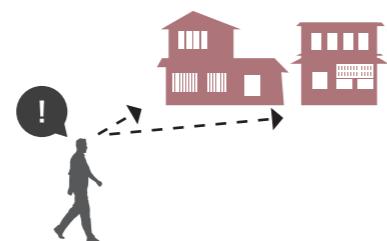
## 函館景観に興味を持ってもらう

Before



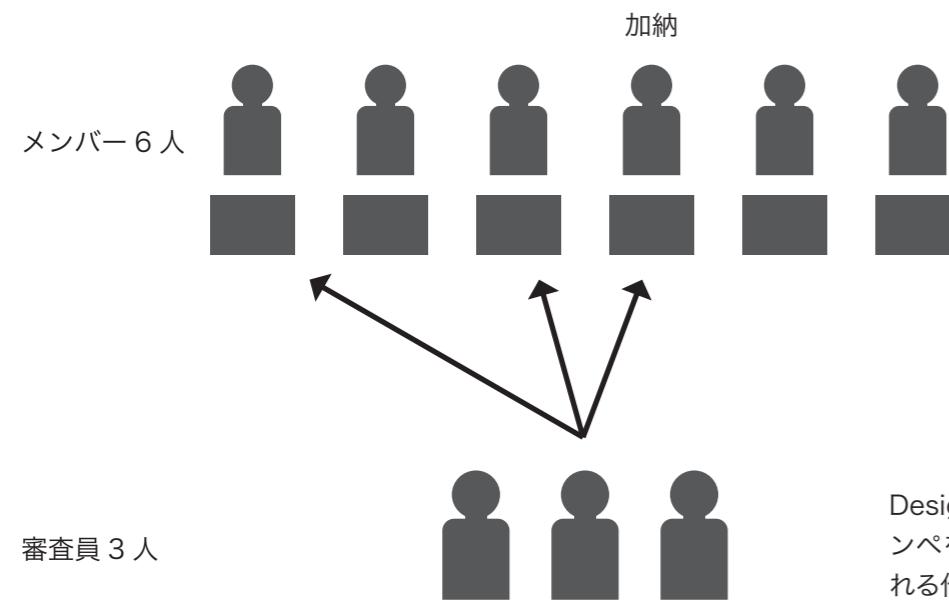
函館の景観に興味を持つ市民が少ない

After



景観賞をきっかけに函館景観に興味を持つ

## 部内コンペでの選出



## 函館情緒の演出に至るまで

01. フィールドワーク

和洋の一体感がある景観を見る



自らの提案でグループメンバーとともにフィールドワークをした。和洋両方の建物があるのにも関わらず一体感のある景観になっていた。

02. コンセプトを決める

スケッチをポスターに使う



スケッチをポスターに使うため清書をした。手書きの味を残すため定規などは使わずにフリーハンドで描いた。

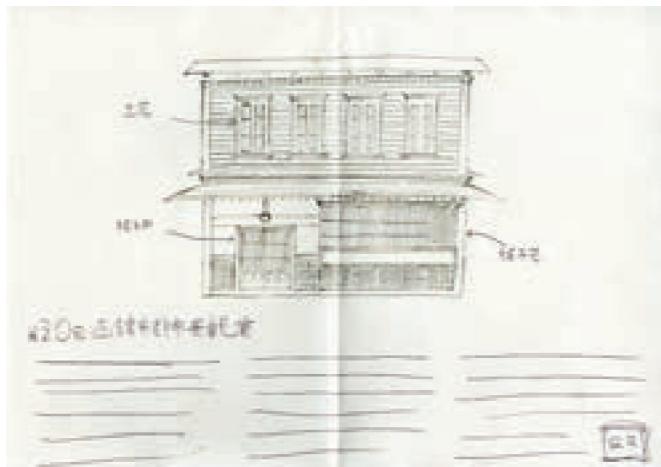


スケッチをしながらのフィールドワーク

函館の景観とはどのようなものなのかを見るためにフィールドワークをした。スケッチをしながら行ったため建物のどの部分が景観に影響しているかを注意深く見ることができた。

### 03. レイアウトの決定

#### メインビジュアルを見てから文章



自身のスケッチからレイアウトを考えた。建物を大きく見て、手書き風の文字で文章を読みながら、建物を大きく見せてポスターに目を向かせてから詳細文を読んでもらうレイアウトにした。

### 04. コンセプトの決定

#### 建物のタッチで雰囲気を伝える



手書きから伝わる歴史感がより伝わるようスケッチをスキヤンしベクター化、編集した。その際にはスケッチの濃さや太さを調整した。

### 05. 色の試行錯誤

#### 目に着く配色を考える



雰囲気を壊さない程度に様々な配色を考えた。ポスターを見てどう思ってもらいたいかでその配色が大きく変わることを学んだ。

### 06. ディティールの調整

#### 市電で揺れても読める文章



市電に揺れながらでも読めるよう文章に太字のヒラギノゴシックを用いた。また雰囲気が伝わりやすい白黒ベースの配色にした。



#### 先生と市役所職員からのフィードバック

岡本先生と宮本さんからフィードバックをもらい改善を重ねていた。自分は「函館市都市景観賞」の文字が全体の雰囲気に合っていないこと、アンディ・ウォーホルの配色を参考にすべきだと言つてもらった。



#### 景観賞審査員へのプレゼンテーション

学校内で市役所の方々にプレゼンテーションを行った。スケッチをポスターにした意味を重点的に説明した。このプレゼンテーションは部内コンペとしていたが自分は市電に掲載してもらえることになった。

# 自らの手でポスターを貼る

函館市企業局交通部にお願いし、自分達の手でポスターを貼らせてもらった。自分の制作したものが世間に広まるということを強く実感したため今後はよりディテールにこだわりたいと感じた。



# 新聞への掲載

部内のプレゼンテーション、市電へのポスター掲載時のことと新聞に掲載させてもらった。自分の言葉では「ポスター制作のために街なみを注意深く見たためその良さがわかった。」という内容を取り上げてもらった。



函館新聞 (2014/11/01)



北海道新聞 (2014/11/06)



函館新聞 (2014/11/18)